

全国に広がる 思春期研究会

④ぐんま思春期研究会

思春期の健やかな成長と自立を応援

昭和五十七年十月発足

当時、群馬県教育委員会
会学校保健課長の佐藤
江氏（第二代会長）が中
心となり、群馬県女医会
の援助を得て、二年ほど
の準備期間を経て発足し
ました。七年目の平成元
年には全国教育研究大
会、平成九年、平成十四
年には関東甲信越静性教
育研究大会の主催、平成
十六年には日母性教育指
導者セミナーを共催してい

ます。そして、今年は一
十七年次を迎え、第五代
会長・家坂清子氏を中心
に活動しています。

会員構成

養護教諭、教師、保健
師、助産師、看護師、福
祉関係者、学生、主婦、
カウンセラー、医師、弁
護士等、思春期の子ども
達を守り育てる様々な立
場の人たちが参加してい
ます。このような会員構
成は会員同士の情報交換

研修内容

①研修組織
会長、副会長三名を含
む二十六名の理事が総
務、会計、研修部に分か
れて研修活動の企画・運
営をしています。総務部
は事務局当番、理事会の
設営、通信発送作業等を
会計は会費の徴収、会場
使用料や講師
の謝礼等の事
務を、研修部
は研修計画、
渉外等を担当
しています。

②研修活動
ア、研修会の
開催：年六
回、隔月第三
土曜日、午後
二時～四時。

③研修内容
年間の研修テーマを決
めて研修計画を立ててい
ます。中心になるのは主
として中堅・若手の理事
で、それぞれの職場の実
践を通して、課題を探り、
学びたい内容を提案し、
検討して、年間計画、研
修内容を決めていきま
す。年間計画を基にして
研修部が、研修に関わる
準備・講師依頼、会場借
用、研修案内、会場設営、
司会進行、研修報告作成

を実施しています。
最近五年間の研修テ
マを紹介します。
【平成十六年度（二十二
年次）】「性情報とメディア
リテラシー」
【平成十七・十八年度
（二十三・二十四年次）】
「コミュニケーション能
力を高めよう」
【平成十九・二十年度
（二十五・二十六年次）】
「今を生きる子ども達へ
の支援」
本年度の研修内容（予
定含む）を紹介します。
【第一回】五月十七日
総会・講演会「女性の生
涯を通じた健康」家坂清
子会長

【第二回】七月十二日、
会員相互研修「中・高校
生の心に響く性教育く
実践から学ぶ」
【第三回】九月二十日、
講演会「思春期における
メンタルヘルスケアにつ
いて」竹内一夫埼玉大学
養護教諭養成課程教授
【第四回】十一月八日、
講演会「子どもに伝えた
いへいのちの話」近藤
真庸岐阜大学大学院地域
科学部教授
【第五回】平成二十一年
一月十七日、講演会「イ
ンターネット・携帯電話
の危険性と大人の役割」
下田毬子NPO法人所属
【第六回】平成二十一年
三月四日、第十九回関東
甲信越静性教育研究大会
（群馬大会）に向けての
話し合い

今後の課題・活動計画
本会の活動をさらに充
実、活発にするために、次
のように考えています。
①会員の拡大：現在の会
員数は百二十名ほどです
が、更に若い人、多様な
立場の会員の加入を増や
して、活動の活性化と後
継者育成を図りたいと考
えています。
②研修内容、研修方法の
工夫：会員の研修に対す
る意見や希望を掌握する
有効な手段を模索してい
ます。中心になってい
る理事の新旧交代なども
検討時期かと考えていま
す。
③他の研修団体とのネッ
トワーク化：現在は「思
春期相談士の会」ぐん
まグループとの連携を図りつ
つあります。
（ぐんま思春期研究会事
務局 吉田規矩子）



「若者によるAIDS啓発プログラム」大郷宏基講師

ぐんま思春期研究会
代表 家坂清子
設立 1982年10月1日
会員数 123人
連絡先 〒371-0024 群馬県前橋市表町2-9-2
ぐんま思春期研究会事務局
TEL・FAX 027-224-9366